

水道事業会計

「おいしい秦野の水」販売促進費について

要望 秦野市のPRと災害時における飲料水の確保を目的としたおいしい秦野の水であるが、マイクロプラスチックの発生源になるペットボトルを利用している。直ちにアルミ缶などにかえることは難しいと考えるが、SDGsの理念を踏まえた取り組みを検討してほしい。

▶本会議での反対討論

水道料金に消費税を課税していること、地下水を利用する企業に応分の負担を求めるべきであることなどから、反対する。

▶本会議での賛成討論

老朽化した管路や施設の更新を行い、市民の生活を支える水道事業のさらなる安定した健全経営を維持すること、おいしい秦野の水のブランド化を図ることを要望し、賛成する。

▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)
本会議 原案可決(賛成多数)

公共下水道事業会計

一般会計からの繰入金について

問 下水道使用料収入の多くは企業債の償還金に充てられ、一般会計からの繰入金がなければ公共下水道事業が成り立たないとのことだが、下水道を利用し

ていない市民にも負担が生じることについての考えはどうか。

答 公共下水道事業については、生活環境や自然環境の保全など社会性の高い事業であるとの観点から、下水道を利用する市民からの使用料収入だけではなく、一般会計で経費の一部を賄うという考えである。

要望 一般会計からの繰入金の一部は、総務省が定める繰入の基準に含まれない事業へ充当されていることから、公平・公正という視点での負担のバランスを考えてほしい。

水洗化促進広報費について

意見 水洗化率の向上を目指し、訪問の強化などを進めているとのことだが、目標達成には厳しい状況である。県が所管する浄化槽管理業務の移管を受け、情報を把握することにより、さらなる水洗化率の向上に取り組むべきである。

▶本会議での反対討論

明らかな貧困世帯には下水道使用料を減免すべきであることなどから、反対する。

▶本会議での賛成討論

市民の安全で安心な暮らしを支えるための経営基盤強化に努め、下水道使用料の改定についてもゼロベースで審議することを要望し、賛成する。

▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)
本会議 原案可決(賛成多数)

国民健康保険事業特別会計

▶本会議での反対討論

国民健康保険税は高過ぎること、さらに保険税の値上げを前提とした予算編成であることなどから、反対する。

▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)
本会議 原案可決(賛成多数)

介護保険事業特別会計

地域支援事業費について

問 高齢者の人口が増えている中、介護予防・生活支援サービス事業の令和2年度予算は、元年度と比較すると減額となっているが、その理由はどのようか。

答 総合事業をはじめとした保険者機能を強化する取り組みを積極的に行った結果、心身の状態が改善するなど介護サービスを卒業する高齢者が増えている。このような実績などを踏まえて積算しているため、減額したものである。

要望 このような成功事例は、高く評価すべきであり、市民にも広く周知をしてほしい。また、職員においても共有を図り、モチベーションの向上につなげてほしい。

介護保険事業における中・長期的な考え方について

要望 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は3年を一期として考え、人口推計から被保険者数の伸び率などを勘案して保険料などを定めている。

今後の計画策定では、中・長期的な視点に立って推計などを行い、その内容について3年間隔で見直しを図るといった考え方を持ってほしい。

▶本会議での反対討論

介護保険料を滞納した場合には、ペナルティーが科され、必要な介護を受けられない人が生まれる制度であることなどから、反対する。

▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)
本会議 原案可決(賛成多数)

後期高齢者医療事業特別会計

▶本会議での反対討論

一定以上の所得がある人に窓口での2割負担を強いているなどの後期高齢者医療制度は廃止し、以前の老人保健制度に戻すべきであることから、反対する。

▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)
本会議 原案可決(賛成多数)

令和2年度 各会計予算額

会計区分	令和2年度当初予算額	令和元年度当初予算額	増減額	増減率
一般会計	507億3,000万円	506億1,000万円	1億2,000万円	0.2%
水道事業会計	36億1,100万円	37億5,900万円	△1億4,800万円	△3.9%
公共下水道事業会計	55億2,500万円	59億8,800万円	△4億6,300万円	△7.7%
国民健康保険事業特別会計	173億2,400万円	180億8,200万円	△7億5,800万円	△4.2%
介護保険事業特別会計	126億6,000万円	123億8,200万円	2億7,800万円	2.2%
後期高齢者医療事業特別会計	24億6,500万円	22億1,600万円	2億4,900万円	11.2%
計	923億1,500万円	930億3,700万円	△7億2,200万円	△0.8%

議会の動向

- 2月
 - 19日(水)・議案送付
 - 21日(金)・議会運営委員会
 - 26日(水)・市議会第1回定例会開会【傍聴者数1人】
 - ・代表者会議
- 3月
 - 2日(月)・本会議(代表質問)【傍聴者数18人】
 - ・追加議案送付
 - 3日(火)・本会議(代表質問)【傍聴者数22人】
 - ・議会運営委員会
 - 4日(水)・本会議(議案審議)
 - ・議会運営委員会
 - 6日(金)・予算決算常任委員会(総務分科会)【傍聴者数1人】
 - 7日(土)・議会運営委員会
 - 9日(月)・予算決算常任委員会(文教福祉分科会)
 - 10日(火)・予算決算常任委員会(環境都市分科会)【傍聴者数1人】
 - 12日(木)・総務常任委員会【傍聴者数1人】
 - ・予算決算常任委員会(総務分科会)
 - 13日(金)・文教福祉常任委員会【傍聴者数1人】
 - ・予算決算常任委員会(文教福祉分科会)
 - 16日(月)・環境都市常任委員会【傍聴者数2人】
 - ・予算決算常任委員会(環境都市分科会)
 - 17日(火)・代表者会議
 - 23日(月)・追加議案送付
 - 24日(火)・代表者会議
 - 26日(木)・議会運営委員会
 - ・予算決算常任委員会【傍聴者数2人】
 - ・市議会第1回定例会閉会【傍聴者数2人】
 - ・臨時議員連絡会
 - ・議会運営委員会
 - ・議会報編集委員会
- 27日(金)・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第1回定例会
- 4月
 - 16日(木)・代表者会議
 - ・議員連絡会
 - ・議会運営委員会
 - ・議会報告会検討会
 - 22日(水)・代表者会議
 - 27日(月)・議案送付(臨時会)
- 5月
 - 1日(金)・議会運営委員会
 - ・市議会第1回臨時会
 - 15日(金)・代表者会議
 - ・議員連絡会
 - ・議会報編集委員会

議員研修会を実施 ～通年会期制や政策立案などを学ぶ～

市民から必要とされる議会を目指し、議員の政策形成や立案能力の向上を目的として、令和2年2月14日に議員研修会を実施しました。当日は、早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員の長内紳悟氏を講師に招き、議会の通年会期制や議員の政策立案などについて学びました。

長内氏は、地域課題が複雑・多様化している中で、より多角的に議論するためには、通年会期制の導入が効果的であることや、政策立案に当たっては個人の「問題」を、みんなの「課題」として共有することや、そのためには、「対話」が非常に重要となることなどについて講演されました。研修会終了後も、通年会期を導入した議会の状況など多くの質問が積極的になされていました。

